

歯科・医科医療費の相関分析

歯の健康が身体を健康を支える

元デンソー健康保険組合
赤塚俊昭

1

利益相反開示

発表者名: 赤塚俊昭

発表に関連し、開示すべき利益相反関係
にある企業などはありません。

(株)デンソー 会社概要



設立	1949年12月16日
資本金	1,874 億円
売上高	連結 4兆 595 億円 単独 2兆 4,908 億円
経常利益	連結 4,196 億円 単独 2,993 億円
従業員数 (就業人員ベース)	連結 144,390 名 単独 39,007 名
連結子会社数	188 (日本68、北米28、欧州35、豪理51、その他6、持分適応会社+32)
主な製品	・自動車部品 ・産業用ロボット・エコキュート・QRコード機器

2014年3月31日現在

3

DENSOの主要製品

● 環境

ガソリンエンジンマネジメントシステム、
ディーゼルエンジンマネジメントシステム、
ハイブリッド車・電気自動車用製品、
スタータ、オルタネータ、ラジエータ など

● 快適

カーエアコンシステム、
バス用エアコン、空気清浄器 など



● 安全

走行支援システム用センシングシステム、
ABS/ESC用アクチュエータ&コンピュータ、
ヘッドランプコントロールシステム(AFS)、
エアバッグ用センサ&コンピュータ、
車両周辺監視システム、コンビネーションメータ、
ワイバシステム など

● 利便

カーナビゲーションシステム、ETC車載器、
リモートセキュリティシステム、
リモートタッチコントロール、スマートキー、
車両運用システム(AVOS)、 など

4

デンソー健康組合の概要

- 加入事業所・・・(株)デンソー、国内グループ会社
計 5 事業所
- 加入者数・・・被保険者 7 万人 (平均39才)
被扶養者 8 万人
- 財政規模
・・・約430億円



5

デンソー健康保険組合の方針と 歯科の取組み

1. デンソー健保の

保険者としての基本的あり方(ミッション)

- ①加入者のQOLの向上
- ②セーフティネットとしての給付の充実
- ③財政の健全化

6

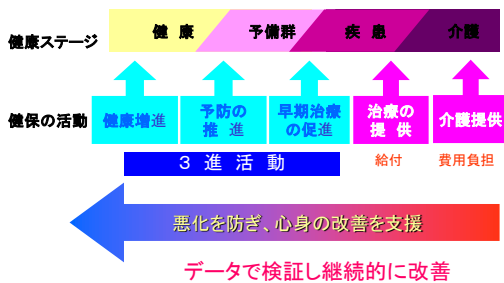
デンソー健康保険組合の方針と 歯科の取組み

2. デンソー健保の 長期的取組み方針とあり方(ビジョン)

- ①健康増進と予防に努め、早期発見と重症化の防止を図る
- ②保険事業の費用対効果を検証し、常に改善
- ③検証はデータとエビデンスに基づく

7

<参考>健康保険組合の機能と役割



8

デンソー健康保険組合の方針と 歯科の取組み

3. ビジョンに基づく具体的な取組み

- ①20年前から健診とレセプトをデータ化、効果検証し、日本一・日本初レベルの保健事業を推進
- ②5年前より厚労省研究事業にて、10年、20年後の健診と医療の突合分析を実施検証

9

デンソー健康保険組合の方針と 歯科の取組み

3. ビジョンに基づく具体的な取組み

- ③2012年、30年に亘る歯科健診について、
医科に対する効果の検証実施

被保険者7万人の15年間の分析結果、
歯科健診が加入者のQOLの向上と
医科を含んだ全医療費の適正化に大きく寄
与することを検証

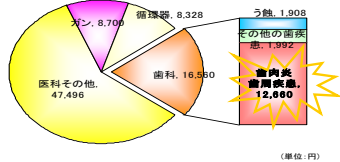
10

1. 歯周疾患と医療費の関係

(1) 総医療費に占める歯科医療費内訳

デンソー健保被保険者の一人当たり医科歯科医療費内訳(H20年度)

医科歯科医療費計=81,084円、n=71,811名



(単位:円)

歯周疾患の医療費は構成比1位(16%)
がんや循環器の医療費よりも高額!

11

(2) 歯周疾患有無による年間医療費の差

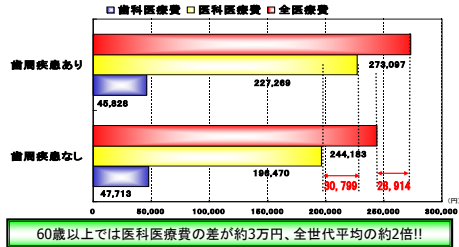
対象:全被保険者(55,233人)



歯科では+6,272円だが、医科で+15,800円、全医療費では+22,072円(+1.7%)

12

対象: 前頁データ中、60歳以上

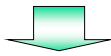


13

(3) 歯周疾患と糖尿病との関連の検証

日本歯科医師会 大久保会長のコメント

「歯周病にかかっていると、
糖尿病の血糖値コントロールに影響することが分かってきました」

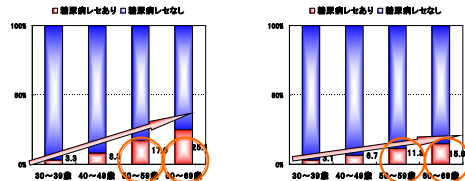


デンソー健保・被保険者のレセで検証し
今後の保健事業に反映する

14

検証結果: 歯科受診内容別、糖尿病レセ受診者割合

- ① 歯周疾患レセがある方で糖尿病レセのある方の割合
- ② 歯周疾患が無い歯科レセがある方で糖尿病レセのある方の割合



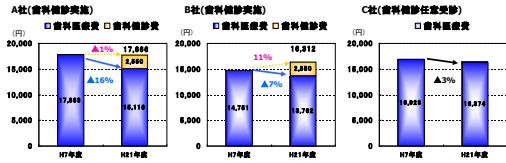
歯周疾患受診者の糖尿病併発の割合は、40歳代から高くなり
・60歳代では歯周疾患の受診者の4人に1人が糖尿病併発
・50歳代以上では歯周疾患ある人は、無い人の1.5倍

15

2. 歯科健診の費用対効果検証(15年の追跡分析)

(1) 歯科健診の歯科医療費への影響

従業員歯科健診実施、不実施事業所の年間被保険者歯科医療費推移



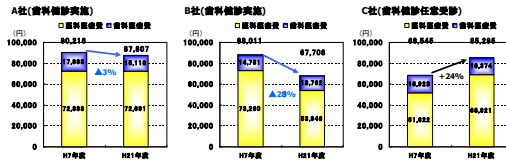
15年間で、歯科健診実施A社B社では、未実施C社に比べ**歯科医療費が大幅に減少**
 歯科健診を加えた健保支出総額は**増加が幅広い**

効果Ⅰ:健保支出総額は増えても、歯科医療費が減少し、**歯のQOL向上**

H19年度から以降、A社B社とも従業員健診時に歯科健診も実施 健診費用は1人当たり2,550円 16

(2) 歯科健診の医科医療費への影響

前項の事業所について年間医科歯科合計医療費の推移(歯科医科とも健診費は除く)



歯科健診実施事業所は年間医科歯科医療費が減少
 一方、不実施事業所では医療費が**大幅に増加**

効果Ⅱ:定期的な歯科健診受診は体の健康維持(体のQOL向上)に寄与 17

3. 検証事項のまとめ

- 被保険者の歯周疾患医療費の診療科目別構成比
 構成比16%、ガンや循環器系医療費より高く、第一位
- 歯周疾患と糖尿病併発の関連性
 50歳代以降になると併発率が高くなる
- 歯科健診の効果
 継続的な受診で健康維持と医科医療費削減につながる

歯の健康維持は**加入者のQOL維持向上**と、
医療費全体の適正化に大きく貢献

